

## 【林学】

### ◎主な配属先、業務内容

#### ■本庁

### 県産材活用課

- 「林業カレッジ」による林業を担う人材の確保・育成
- 県有林の経営
- 集落を単位に木材生産を行う「コミュニティ林業」による間伐・主伐の推進
- 住宅や公共・民間施設、木質バイオマス利用等での「ふくいの木」の利用拡大



### 森づくり課

- <sup>こうふくだけ</sup>香福茸（ジャンボしいたけ）や炭など特産林産物のブランド化
- 「ふくい Satoyama トレイル」などによる森林の多様な活用による山村の活性化
- 治山事業による山地災害等から暮らしを守る森づくり
- 地域森林計画の作成
- 緑と花の県民運動の推進



## 総合グリーンセンター

### 【試験研究】

- 無花粉スギや早生樹（生長の早い樹種）の生産技術の確立
- 「極上マイタケ」の開発、木質燃焼灰を利用した地盤改良材の開発

### 【緑と花の拠点】

- 「緑と花の県民運動」の中心施設として緑化活動、花づくり活動の推進

### 【林業の人材育成の拠点】

- 林業・木材産業などに関する知識や技術の習得のための研修会の開催



## 農林総合事務所 林業部等（県内6箇所）

### 【林業・木材活用課】

- 地域の森林所有者や森林組合、市町などに対し、森林・林業に関する普及指導
- 「ふくいの木」の利用促進
- 緑と花の県民運動の推進

### 【林業事業課】

- 県民の生命・財産を山地災害等から守る治山事業の計画、設計、監督業務
- 林業の生産基盤となる林道事業の計画、設計、監督業務
- 保安林や林地開発の許認可



## 【林学】平成31年度採用



## 森づくり課

## 東 桂子

(信州大学 工学系研究科地球生物圏科学専攻 卒業)



### 【主な担当業務】

- 森林を活用した特用林産物の生産拡大や森林体験など、木材生産以外の里山ビジネスの振興  
(里山ビジネスに関連した研修の企画、キノコや山菜などの県産特用林産物の生産施設の整備に対する補助や販路開拓等)

### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 メールチェック	8:45 グループリーダーに今日の予定を報告	10:00 研修の企画、 上司への相談	12:00 昼休み	13:00 講師へのアポとり、 会場の予約	15:30 研修に係る資料の作成	17:15 業務終了
--------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------	-----------------------------	---------------------	---------------

### ◎福井県職員を志望した理由

子供の頃から生き物が大好きで、大学では森林科学、大学院では生物学を専攻していました。卒業後は県の登山用品メーカーに就職しましたが、結婚を期に福井県へ移住することとなり退職し、定住後に『もう一度、山にかかわる仕事で活躍したい』との思いが強くなり、受験を決意しました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

普段は本庁の室内で仕事をしていますが、研修やPR活動を通じて積極的に現場へ行き、たくさんの人と話をします。林業関係の仕事ということもあり、現場でしか分からないことが多く、本庁に閉じこもっているだけでは良い仕事ができないと感じています。

### ◎魅力・やりがい

福井県の土地の大半は森林です。森林は木材生産だけではなく、防災や環境保全など様々な機能を有していて、見えないところで私たちの生活を支えています。この森林を守って行く事が私たちの仕事です。森林の仕事は、県民の皆様の目に触れる機会は多くありませんが、社会貢献度の高いやりがいのある仕事です。

### ◎採用試験対策

一次試験対策として国家公務員試験の過去問題を取り寄せ、「森林・林業白書」と「森林・林業実務必携」を参考に自身で一問一答解説集を作成しました。二次試験対策は、ニュースをよく見て、時事問題を把握していたことが役に立ちました。

### ◎後輩たちへ一言

私は兵庫県出身で、進学、就職とあわせてさまざまな地域で暮らしてきましたが、福井はとても住みやすいと感じます。人が優しく、食べ物もおいしく、自然は豊かで、生活施設が充実しているからです。さらに、福井県は職員の福利厚生も充実しており、女性だけでなく男性もワークライフバランスが保ちやすい環境です。仕事内容だけでなく、これからの人生設計も踏まえて福井県に就職してみませんか？幸せを感じてもらえると思います！！